

産学懇談会（第2回） 実習船「大島丸」に乗船しました

9月13日(金)東京都立大島海洋国際高等学校が運用する実習船「大島丸」を会場として、今年度第2回の産学懇談会を開催しました。今回乗船した「大島丸」は5代目の実習船で、全長59m、総トン数681トン、令和2年2月に竣工した立派な新鋭船です。今回の懇談会は乗船定員の事情から、午前と午後の二部に分かれて実施しました。



乗船式（挨拶）

はじめに、午前の部は、本会事務局長の薄隅直人教育庁都立学校教育課高等学校教育課課長代理の挨拶があり、午後の部は、本会常任理事の長谷克己教育庁都立学校教育課高校学校教育課ものづくり教育推進担当課長の挨拶がありました。続いて、会場校の浅野恵治校長、大島丸の三森靖彦船長から御挨拶をいただきました。

学校概要と特色ある取組の紹介

一等航海士から乗船における注意事項の説明をいただいた後、浅野校長から学校概要と特色ある取組について紹介していただきました。都立大島海洋国際高校は、都内では唯一、全国でも珍しい海に囲まれた島（伊豆大島）に校地を置き、海洋・水産について学ぶことができる学校であること、2学年より「海洋探究系」「船舶運航系」「海洋生物系」「海洋産業系」の4つの系列に分かれて、それぞれの専門分野を学ぶこと、さらに、1・2学年は生徒全員が乗船実習を行っていることなどの説明がありました。



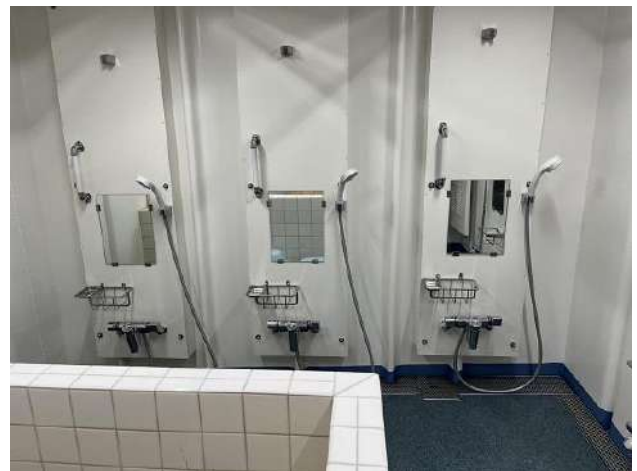
浅野 恵治 校長



三森 靖彦 船長

船内見学

鈴木悟副校長、早川敏明乗船教官の案内により、「大島丸」船内の施設・設備を見学させていただきました。



クルージング体験

クルージングは、有明ふ頭を出港、羽田国際空港沖を通過し、有明ふ頭に戻ってくる90分間の体験でした。当日はコンパスデッキ（船のトップデッキ）から東京湾を眺めながらひと時の癒しの時間を過ごしました。（強風のため、残念ながら午後2部のクルージングは中止となりました。）





懇談会

参加者は、会場校教員、当会の役員、企画推進委員、企業会員、学校会員、教育庁指導部・都立学校教育部職員等を合わせて34名でした。参加者の自己紹介を行い、浅野校長から学校概要と特色ある取組について説明して頂いたことに関して、参加者から質問や意見が出されました。水産科や実習船について理解を深める有意義な機会となりました。



下船式（謝辞）

午前の部は、東京都産業教育振興会を代表して金子昌男副会長より謝辞を申し上げました。午後の部は、西澤宏繁会長より謝辞を申し上げました。

【午前の部】 副会長
金子 昌男
株式会社カナック企画 相談役



【午後の部】 会長
西澤 宏繁
ForeVision 株式会社 取締役・監査等委員会委員長



当日は、大変暑い一日でしたが、都立大島海洋国際高校の特色や実習船「大島丸」での乗船実習の様子などに触れる実りある体験ができました。都立大島海洋国際高校浅野恵治校長をはじめ教職員、大島丸関係者、日本海洋事業株式会社の方々に感謝を申し上げます。